



やなぎだ昌孝

まさ

たか

市政報告

vol.4

日本維新の会奈良市議団 所属

〒630-8043 奈良市六条1丁目12-2 TEL: 0742-46-2888

<https://m-yanagida.com>



奈良市議会の柳田昌孝(日本維新の会奈良市議団)は今年度の議員活動の中、市民の皆様、事業者が物価高の影響を受ける今、奈良市議会の定数39人が適正かどうかを問う2000人規模の調査を同僚議員と行いました。その結果、削減すべきは4人という平均値を得て、市議会9月定例会に「身を切る改革」の一環として定数削減の条例改正案を提案します。グリーンセンター建設計画や西ノ京駅整備をはじめ、私の議会活動をご報告します。

市民生活の安定求め修繕要望

グリーンセンター 既存施設老朽化待ったなしの状況

老朽化が著しい左京5丁目の環境清美工場(グリーンセンター)＝写真＝で今夏トラブルが発生し、3号炉の稼働が停止する事態に陥りました。市は処理できない分のごみについて橿原市や枚方市、民間の三重中央開発に「区域外処理」の協力をお願いしています。施設の移転、新築を計画している七条地区の合意が得られていない中、既存施設の待ったなしの老朽化を受けて市は市議会9月定例会に140億円を投じる改修費を盛り込む補正予算案を提出しました。

私はこれまで、市がグリーンセンターの移転、新築を計画している地元の七条地区に対して丁寧な事業説明を行うことを強く求めてきました。また既存の施設の老朽化に伴う稼働停止に陥らないよう市民生活の安定を求めてきました。

グリーンセンターは昭和57(1982)年に稼働を開始。市内で排出されるごみは1日平均217ト。4基ある炉のうち3基の稼働が必要になっています。しかし近年、老朽化によるトラブルに見舞われることが多く、修繕費に年間最大12億円を要しています。市は七条地区への移転、新築を計画していますが、地元への説明や協議が進んでおらず、市の対応に批

判もあります。

1号炉をオーバーホールしている最中、稼働停止になった今回の3号炉のトラブルと市の対応について私は、所属する委員会で質問。市は冷却塔下部や灰の押し出し装置の修理に今年9月ごろまでの時間を要するとし、収集した市内のごみで対応しきれない分については区域外処理で橿原市や枚方市、民間事業者をお願いしていると説明しました。

私はこの区域外処理の1ト当たりの価格(橿原市＝3万555円、枚方市

＝2万9600円、三重中央開発＝3万4650円)が適正かをただし、また新グリーンセンターの稼働開始まで既存施設がトラブルに見舞われないよう今後、費用対効果を精査し、大規模な修繕を行って市民生活に支障が出ないように取り組んでいくことを強く求めました。

これらを受けて市は、4基ある炉のうち劣化の著しい2基を改修するための予算約140億円を、市議会9月定例会に提案することを決めました。

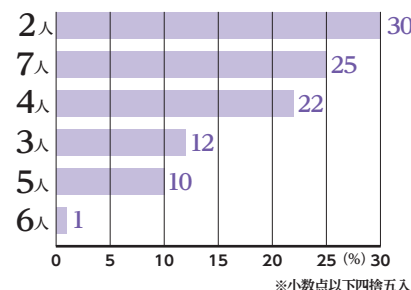
市民2000人対象に市議定数適正かアンケート 結果をもとに、4人減の改正案提出

私が所属する日本維新の会奈良市議団は今夏、39議席ある奈良市議会の定数が適正かを調査するため、2000人を対象にした市民アンケートを行いました。その結果、削減すべき人数は「2人」と回答した人が最も多く、次いで「7人」となりました＝表参照。市議団では、回答があった削減人数の平均値を算出(4.16人)し、9月定例会に4人削減の条例改正案を提案することを決めました。

アンケートは2000人を対象に実施。164人から回答を得ました。削減すべき人数を2人～7人から選択してもらい、最も多かったのが2人。次いで7人、4人、3人と続きました。削減すべき人数の平均は4.16人になりました。

奈良市の今年6月時点の人口は35万390人で、議員定数は39人。総人口を議員定数で割った「議員一人当たりの人口」は8984人になりま

市民アンケート結果 奈良市議会が削減すべき議員数



す。

奈良市と同規模の全国の「中核市」の議員定数の平均は36人で「議員一人当たりの人口」の平均は9694人になっており、奈良市議会の定数と議員一人当たりの人口ともに平均を上回っている状況です。私たち維新は身を切る改革を実行すべく、この結果をもとに、市議会9月定例会に条例改正案を提出しました。

